

# 進路通信

卒業後の  
「生き方」  
を考えよう。

島本町立第二中学校  
令和2年5月18日  
【発行】  
進路担当 田平暁亘

## ～進路通信を発行します～

中学3年生の皆さんにとって、この令和2年4月からの1年間は、「勝負の1年間」であり、自身の今後の進路を切り開いていく上で、「とても重要な1年間」となっています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、学校の休校状態が続いているため、大手を振って仲間に会うことや、仲間と共に教室で授業を受けることもできず、大変不安で心配な日々を過ごしていると思います。学校再開については、今後学校から随時連絡がありますので、そちらを確認してください。

さて、皆さんの不安の中で、「進路」に関わる部分が多く占めていると思います。この不安を少しでも解消できるように、この「進路通信」を発行していきます。

新型コロナウイルスの影響で、チャレンジテストの中止や高校が主催する説明会の延期など、変更される場面が多いと思います。その都度この進路通信を発行し、皆さんの安心・安全に繋げていきます。また、「どのように進路について考えたらいいのか」「様々な高等学校に関する情報」なども載せていきますので、自身の進路を考える1つのキッカケにしてください。

## ～「進路」を考える～

まず「進路」とはなんでしょうか。考えたことはありますか？よく「進路について考えよう」や「進路学習を始めます」など様々な場面で使っています。この言葉をしっかりと理解してみましょう。

「進路」とは「じぶんの<sup>すす</sup>進む<sup>みち</sup>路」のことです。自分の生きる夢や目標であり、その夢や目標を“達成”するための『毎日の生活そのもの』なのです。例えば2年生時にはキャリア教育として、職場体験を実施し、自分の性格や適正を知り、自身の将来(未来)



について考えてきました。それら様々な経験を踏まえ、自分が現在から未来に向かって  
①「どう生きるのか」②「生きていくために必要な力をどう身に付けていくのか」を真  
剣に考え、実行していくことが『進路を考える。』ことなのです。

### ① 「どう生きるのか」

「コンピューター関係の仕事がしたい。」「看護師になりたい。」

「サッカー選手になりたい。」「世界中で仕事をしたい。」など……。小さい時から思い描いている夢や目標はありますか？または、まだ漠然としているけれどこんな生活がしたい等ありませんか？

あきらめることなく努力を続けて是非とも実現していきたいですね。

一方で、そんな先のことまで考えられていないという人も多くいるかもしれません。まずは、卒業までの残り少ない中学校生活で一生懸命将来について考えてください。ただ現実として来年には義務教育が終了してしまいます。そのため、最低でも中学校卒業後の3年先ぐらいまではしっかりとした考えを持つ必要があります。「“とりあえず”高校に進学する。」ではなく、そこで『何をして』『未来にどう繋げるのか。』ただ単にどんな職業に就くのかだけを漠然と考えるのではなく、たくさん情報を集め視野を広げつつ考えを深め、そこに至るまでの道筋や取り組みも大切に、自分らしい生き方を見つけてみてください。

### ② 「生きていくために 必要な力をどうつけていくのか」

皆さんは自分の進路達成に向けて学校や家庭、塾などで一生懸命に「学力」をつけていますね。「学力」も進路を切り拓く大切な要素の一つですが、「提出物を期日までにきちんと出す力。」「しっかり前向きに授業を受ける力。」「丁寧に清掃活動に取り組む力。」「仲間と力を合わせて行事に取り組める力。」「あいさつができる力」など、これらはすべて進路を切り拓くための力、すなわち将来皆さんが社会に出て生きていく上で必要になる【基本的な力】ばかりです。社会人になって会社で働いている自分の姿を想像してみてください。前記のどの力も必要になると思いませんか？

日常のすべての活動を大切にしていける事が、生きていくために必要な力をつけていくことなのです。

現在、家庭にて「自学自習」に取り組み、『学力』という武器を磨いていると思います。それと同時に、自身の『進路』についても考えてみてください。今磨いている武器を「ど

こで「どう活かす」のか。さらに今後「どう繋げる」のか。様々な人からアドバイスをもらい、自身で決定していく力を養っていきましょう。

※本校では、3年間を通じて「進路を考える」＝「キャリア教育」として、様々な取組を行っています。

## 【保護者の皆様へ】 ～奨学生募集のご案内～

前回の学年だよりにおいても掲載した「公益財団法人川口交通遺児育英会から奨学生募集のご案内」です。高校・高専進学志望の中3生対象です。下記の内容をご一読ください。ご不明な点がございましたら、学校まで連絡をいただけますと幸いです。

### 高等学校・高等専門学校奨学生予約募集

保護者が交通事故で死亡したり、負傷のため著しい後遺障害があって働けなくなった御家庭で、高等学校または高等専門学校への就学が経済的に困難となった生徒に対し、奨学金・入学資金を給付します。返済の必要はありません。

**給付額：**月額 20,000 円（正規の卒業期まで）、入学資金 100,000 円以内

**応募方法：**学校から育英会の定める募集要項・願書を受け取り、必要記入事項を記入、提出書類を用意し期限内に学校に提出してください。その後学校が育英会に申請を行います。

**出願締切：**学校への書類提出期限は令和2年6月17日（水）までとなっています。本奨学金を希望する、または詳細を知りたい場合は、5月の登校日において、お子様を通じて構いませんので、担任へお伝えください。募集要項・願書等をお渡しします。